

はじめに

本市は、日本で最初に国立公園に指定された霧島山をはじめとする豊かな自然、多彩な観光資源や天孫降臨神話などの特有の歴史・文化、安全・安心で豊富な「食」、空港や高速道路、鉄道などの広域的な交通網など、多くの魅力やポテンシャルを有しています。

このようなまちの姿は、一朝一夕に形成されるものではなく、先人達の思いや志、そして、それに向けた営みが脈々と積み重ねられてきたからこそ今の霧島市があると言えます。



未来の理想の姿を思い描き、そこに向かって時代を切り拓いていくことは、今に生きる私たちに課せられた、将来の世代に対する責任です。

私たちは、次の世代にどんな霧島を残していけるでしょうか。

本格的な人口減少社会の到来、地球規模の環境問題、大規模な地震災害等を契機とした安全・安心な暮らしへの関心の高まり、経済・社会のグローバル化や技術革新の急速な進展など、本市を取り巻く環境は目まぐるしく移り変わっており、社会のあらゆる面で大きな変革期を迎えています。

先人達が築き上げた歴史・文化を礎として暮らす私たちは、未来の理想の姿に思いを馳せながら、私たちの子や孫、更に次の世代が暮らす社会が持続的に発展できるよう、人口減少の問題をはじめとした直面する様々な課題に対し、共に考え、共有し、行動していくことが大事です。

今般、本市は、将来のあるべきまちの姿と市民とともに進むべき方向についての基本的な指針として、2018(平成30)年度を初年度とする「第二次霧島市総合計画」を策定しました。

本計画では、「人にやさしく 人をはぐくむ 一人ひとりが輝きにぎわう 多機能都市」を将来像として掲げ、このまちに暮らす人が、生まれ育った郷土に誇りを持ち、ずっと住み続けたいと思えるように、また、更に多くの人がこのまちを訪れることを目指し、本市の強みに目を向け、新しい視点を示しながらまちづくりを進めていきます。

皆さん、一緒に霧島の未来を切り拓いていきましょう。

最後になりますが、本計画の策定に当たり、熱心にご審議いただきました総合計画審議会委員をはじめ、貴重なご意見やご提言をいただいた市民の皆様方、関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

平成30年3月

霧島市長

中重真一

